

# 契約当事者市町別の相談件数

令和2年度（令和2年4月～令和2年9月）

市町名	R2年度件数	R元年度件数	増減	対前年度比	市町名	R2年度件数	R元年度件数	増減	対前年度比
津市	276	209	67	132.1%	朝日町	15	13	2	115.4%
四日市市	134	116	18	115.5%	川越町	14	14	0	100.0%
伊勢市	43	46	-3	93.5%	多気町	21	13	8	161.5%
松阪市	106	92	14	115.2%	明和町	29	23	6	126.1%
桑名市	68	64	4	106.3%	大台町	9	8	1	112.5%
鈴鹿市	81	77	4	105.2%	玉城町	19	11	8	172.7%
名張市	51	44	7	115.9%	度会町	5	3	2	166.7%
尾鷲市	7	10	-3	70.0%	大紀町	4	8	-4	50.0%
亀山市	26	28	-2	92.9%	南伊勢町	11	10	1	110.0%
鳥羽市	7	9	-2	77.8%	紀北町	6	16	-10	37.5%
熊野市	18	17	1	105.9%	御浜町	9	5	4	180.0%
いなべ市	25	25	0	100.0%	紀宝町	9	9	0	100.0%
志摩市	31	26	5	119.2%					
伊賀市	42	47	-5	89.4%	県内不明	32	22	10	145.5%
木曾岬町	4	15	-11	26.7%	県外・不明	49	44	5	111.4%
東員町	12	17	-5	70.6%					
菰野町	42	31	11	135.5%	合計	1,205	1,072	133	112.4%

相談件数は、県センターの所在地である津市が最も多く、続いて、四日市市、松阪市、鈴鹿市、桑名市の順になっています。

※消費生活苦情相談件数のみの集計です。